

■フランス：国内初の Power to Gas 実証プロジェクト「GRHYD」が開始

大手エネルギー事業者 Engie は 2018 年 6 月 11 日、フランス北部の都市ダンケルクのカペル・ラ・グランドという地域で、国内初の Power to Gas 実証プロジェクト「GRHYD」を開始した。同プロジェクトには、政府から 1,500 万ユーロの補助が拠出される。電気分解による水素製造と貯蔵、およびガス配管網への水素注入を 6%から開始し最大 20%まで行い、対象地域 100 世帯への混合ガス（水素と天然ガス）供給を、2 年間にわたり試験的に実施する。なお、政府が 2018 年 6 月 1 日に発表した「国家水素計画」では、ガス配管網への水素注入の技術的・経済的条件を明確にすることが規定されている。同プロジェクトは Engie が主導するが、Areva H2Gen、原子力・代替エネルギー庁（CEA）、水素事業者 McPhy など 10 の機関や企業も参加している。